

平成26年12月12日

鯖江市長 牧野百男 様

鯖江市総合計画審議会  
会長 野村 一 榮

第5次鯖江市総合計画改訂（案）について（答申）

平成26年9月29日に諮問のありました第5次鯖江市総合計画改訂版の策定について、市から提案のあった基本施策改訂案（基本計画）をもとに審議を行った結果、下記の意見を付して別添のとおり答申します。

なお、貴職におかれましては、この答申の趣旨を最大限に尊重して、第5次鯖江市総合計画改訂版を策定されるとともに、計画の着実な推進を図られるよう要望します。

記

地方自治体を取り巻く環境が長引く経済不況や人口減少等により厳しさを増す中、当審議会では現行総合計画の実績評価を踏まえたうえで、計画期間を2年間延長する改訂版の審議を行いました。

現計画の基本理念である「豊かさへの創造」ならびに、まちの将来像である「自信と誇りの持てる自主自立のまちづくり」の基本的な方向性は継承しつつ、重点施策である「鯖江ブランドづくり」と「人の増えるまちづくり」に向けて、引き続き、市民目線、生活者視点からの施策に市民協働で取り組むことが求められています。

特に、「北陸新幹線敦賀開業を見据えたまちづくり」や、全国的な課題である「地方の人口減少問題」などへの対応は喫緊の課題であり、本市においても人口が減少傾向を示す中、IターンやUターンを志向する若者の受け皿として、新たな産業の育成や二次交通網の整備に努め、「豊かさへの創造」に向けた活力あるまちづくりへの取り組みが必要となります。

今後、この第5次鯖江市総合計画改訂版に基づき、将来の鯖江市を担う子どもたちが、このまちに誇りと愛着を持ち、住み続けたいと思えるような、夢のあるまちづくりに向けて、市民と協働で力強く歩まれることを要望します。